

# 土佐の風土を生かした 快適な住まいを目指しましょう

快適な住まいづくりをするためには、土佐の気候風土や立地条件を把握し、夏場に適した開放的な構造・間取りや、自然光の取入れ方、風通しのよい家とすることが基本です。

四季のある気候環境のなかで、夏場・冬場の相反する要素をバランスよくコントロールしなければなりません。四季のある住環境のなかで、夏場・冬場の相反する要素をバランスよくコントロールしなければなりません。現代では様々な材料・設備機器・自然エネルギーを利用した住宅がありますが、先人達が残した伝統的工法を生かしながら新しい材料や工夫を取り入れ、しかも人にも環境にもやさしい住宅づくりが求められています。

## ① 地域に適した長寿命住宅 ② 省エネルギーな間取りや工夫

- ・立地条件を考える(まちなか・郊外等)
- ・丈夫で骨太な構造
- ・雨風から家を守る屋根や庇
- ・飽きのこないデザイン
- ・開放的で風通しのよい間取り
- ・日当たりを考慮した部屋の配置
- ・複層ガラスや断熱材の効果的な使用

## ③ 健康的な材料の使用 ④ 設備機器や自然エネルギー

- ・地場産材(木材・漆喰等)
- ・自然素材やリサイクル材
- ・効率のよい冷暖房器具の配置
- ・省エネな照明器具と配置
- ・太陽熱や地熱等の利用



建物の工夫

住まい手の工夫

## 快適な住まい(省エネ住宅)

- ① 植栽計画
  - ・木々の配置で日射を防ぐ
  - ・緑のカーテン
- ② 窓辺の工夫
  - ・カーテン・ブラインドで断熱性を高める
  - ・「すだれ」や「よしず」で暑さ対策
- ③ 省エネ家電
  - ・【省エネマーク】や【統一省エネラベル】のチェック
  - ・熱のこもらない家電の配置

## 予算に応じた省エネの住まいができます

家を建てるということは、ほとんどの方にとって、一生に一度のことです。予算・規模もそれぞれ違いますが、【快適に住みたい】と思う気持ちと同じです。

まずは予算・規模にかかわらず立地条件や地域性を考え、日当たり・通風性などを考慮し、間取りを計画することが大切。これを踏まえたうえで、自分が何を求めているのかをはっきりさせて家づくりをしていく必要があります。今、多種多様な工法や材料さらに設備機器等があり、価格も様々です。どれを選ぶにせよ、長期的な目で選んでいくことを進めます。

### 家づくりに重要な基本的考え

地域環境  
立地条件

長寿命の家

健康的に住む

【採光性・通風性の良い間取り・深い軒の出など】

### こだわりたい部分は？

建物のデザイン  
(雰囲気)

建物の性能

素材の選択

設備機能の選択

伝統的土佐の家  
都市型住宅 など  
(洋風等)

高気密・高断熱  
(複層ガラス等)  
バリアフリー など

伝統的な自然素材  
(漆喰・和紙等)  
安価なエコ素材  
(珪藻土等) など

自然エネルギー  
(太陽熱等)  
省エネ給湯  
(エコキュート)